



長照寺だより

わ げん あい ご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp

つきじ1泊(わんぱく)子ども会 平成24年3月29日~30日



ANA 機体工場にて

- ツキジンピック
- 研修会
- 築地本願寺内探検
- ANA機体工場見学 (7ページ)



仮本堂にてのお参り

「浄土真宗のみ^{おし}教えを信じるものは
どんなことでも 世俗的な心持ちで行
うのはよくない。仏法(仏様の教え)
にもとづいて 何事も行わなければな
らないのである」

(蓮如上人ご一代記聞書)



築地本願寺本堂前にて

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を終えて



昨年四月九日から足掛け九ヶ月、六十五日間に及んだ親鸞聖人七百五十回大遠忌法要が一月十六日のご満座法要を迎え、無事円成しました。全国から約四十六万人の参拝者で京都本山は賑わいました。東京教区静岡東組も九月十一日から二泊三日の日程で、百二十五名の皆さんが団体参拝され、五十年に一度のご勝縁に合わせて戴き、長照寺からも三十五名が参拝され私も一緒にさせていただきました。

更に、九月十一日と一月十五日の二回に亘り門徒宗会議員として「縁起（おねり）」に出勤し、またとないご縁をいただきましたことに感謝しています。

昨年三月十一日は未曾有の東日本大震災が発生し、命の重さや尊さを改めて思い知らされました。「念仏は仏様の知恵と慈悲である。念仏を通して自分の愚かさに気付かされたときに慈悲の心をいただき、本当に悲しみを分かち合う心が起こる」といわれます。大震災で被災された方々を思うとき、「悲しく、辛いけれど、この命は生かされている。念仏は悲しみや苦しみを取り去るものではない。しかし、この無常の世の中を強く生きるエネルギーを与えていただくものである。」と聞かされました。また、「南無阿弥陀仏」と念仏申すは「生かされ



門徒宗会議員（長照寺門信徒会副会長） 桑原 明文

た命だから大切に生きてほしい」という仏様の呼び声だといわれます。念仏の大切さをみんなで共有しなくてはならないのではないのでしょうか。今、この世の中は、世界では今なお紛争が続く、国内においても「格差社会」「無縁社会」や、「自死（自殺）」「孤独死」の問題など、私たちの社会には深刻な課題が山積しています。

この世の中は、「無常であり生老病死はわが身のことだと。生きていくのではない、生かされている命である。いただいた命を完全燃焼することが人生である。」といわれます。これらのことを今一度自分に

問い質す機会にしたいものです。

お寺は伝道教化の根本道場であります。親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を終え、五十年後の八百回忌に向けて浄土真宗のみ教えが、さらに伝わるよう私たちは命の尊さにめざめ、念仏申す日暮らしを通して、生かされている人生を精一杯生きぬかせて頂きましょう。

合掌

門信徒会親睦一泊研修旅行（下田）



お吉祭り（唐人「お吉」追悼法要） 参拝研修一泊二日に参加して

門信徒（世話人） 長島 政信

「唐人お吉」こと「齋藤きち」の生いたちは、一八四一年十二月二十二日（天保十二年）愛知県南知多町に二女として生まれた。

その後一家は下田に移り住む。立ち振る舞い非常に良く十四歳で芸者となりお吉と名乗る。一八五七年タウンゼント・ハリスの体調不良にともない介護としてつかえる身となる。

幕末の鎖国・外国人に対する偏見が強く、ハリスに仕えた期間は僅かでしたが、「唐人お吉」と、ののしられ下田に居れず横浜に流れ、人生が一変する。以後下田に戻り小料理屋を開くが、酒に溺れ倒産。乞食となり明治二十四年三月二十七日稲生沢川のお吉ヶ淵で川へ身を投げ、五十年の命を絶つ。

下田の人間は死後もお吉に冷たく、亡きながらも放置され哀れに思っていた宝福寺の住職が境内の一角にお吉を丁寧に葬った。

《宝福寺で前夜祭・追悼法要と二日間研修参加》

前夜祭二十六日

- 一、学精流日本吟院下田岳精会の詩吟三十分披露
- 二、竹岡住職の特別講話

「お吉菩提寺住職が語るお吉秘話」

哀れに思った前々住職、当時の悪風習に、
たち 向かいお吉を葬り、寺も犠牲にして
仏の道を買った話（その後寺は再興された）

- 三、ハープ演奏 中野智香子演奏

お吉を忍んで、ハープの調べ五十分 さくら 幻想曲 他約十曲

お吉ヶ淵法要二十七日十時

お吉が最後に身を投げた下田蓮台寺の稲生沢川の淵（お吉ヶ淵）で宝福寺住職・長照寺住職の読経による法要が行われ、芸者・関係者・一般人等数十人参加

お吉墓前の追悼法要十時四十五分

読経と市長等の挨拶後全員焼香すませ、宝福寺境内でのいろいろな催しものがあり楽しみました。

幕末から明治にかけて、お吉は日本国のため幕府に利用され、唐人お吉と云われながらもその功績は大きく又、その後役が終わると世間は冷たく、生きるすべを無くした悲劇的生涯は、人間の偏見と権力、その底にひそむものを、お吉の生涯から考えさせられます。

合掌



お吉ヶ淵にての法要



お吉墓前にての法要



芸能大会



特別講話



ハープ演奏

活動報告

平成二十三年年度下期

第三十四回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成二十三年十月三十一日
：大熱海国際ゴルフクラブ

優勝 小坂 正義さん
準優勝 落合 堅二さん
第3位 吉川 安敏さん



報恩講

平成二十三年十一月二十日
：一六〇余名

ご講師 柳川眞理子 師
一年に一度最も大切なご法要です。
親鸞聖人を偲び、生きる「力」を
いただきます。



七五三参り（恵みのお参り）

「命のつながり、命の尊さ」を伝えていくお参りです。

平成二十三年十一月二十一日

遠山 研介（けんすけ）くん

※平成十九年一月四生

平成二十三年十二月三十日

園田 薫（かおる）ちゃん

※平成二十年五月十五日生

※写真は8ページに掲載



境内清掃作業

平成二十三年十二月四日
：九〇余名

新しい年を迎えるにあたり、
感謝・感謝。



除夜会

平成二十三年十二月三十一日
：百十余名

百八ツばかりの煩惱ではない
ことを知り、これからは少し
ずつ出していきましょう。



修正会・新年会

平成二十四年一月四日
五〇余名

心新たに出発。今年こそはと
毎年思っている自分がいた。

★このたびの修正会・新年会が、
ボイスQ（FMみしまかなみ）
にて放送されました。

※写真は8ページにも掲載



親鸞聖人七五〇回大遠忌法要(ご正當)

平成二十四年一月十五日〜十六日

… 京都・西本願寺(本山)

例年参拝しています、ご正忌報恩講です。
このたびは親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の
最後のお参りをしてきました。
また、長照寺衆徒「本持信宗」「藤澤直樹」
が列衆として出勤して参りました。



初参式

平成二十四年二月十一日

杉山 亮太(りょうた)くん

※平成二十三年十月十一日生

誕生の喜びを仏様に報告し、感謝するお参りです。

※写真は8ページに掲載



東京教区仏教壮年会連盟研修会

平成二十四年二月十八〜十九日

… 千葉県

先輩方々を敬いながら、
若い者とも共生きの強化
団体です。

※写真は6ページにも掲載



東日本大震災一周忌追悼法要

平成二十四年三月三日

三月定例法座時にお勤めいたしました。



春季彼岸会法要

平成二十四年三月二十日

一五〇余名

ご講師 四夷法顕 師



門信徒会親睦一泊研修旅行

平成二十四年三月二十六〜二十七日

… 寶福寺(下田市)

(下田にあります寶福寺(浄土真宗本願寺派)
にて、お吉祭り(唐人「お吉」追悼法要)へ
参拝してきました。

※写真は3ページにも掲載



つきじ一泊(わんぱく)子ども会

(東京教区少年連盟主催)

平成二十四年三月二十九〜三十日

… 築地本願寺

※写真は表紙、7ページにも掲載



今 後 の 活 動 予 定

平成 24 年

4月 8日(日)	祝入園・入学慶讃法要 釈尊降誕・花まつり・落語の会	本 堂
4月 22日(日)	門信徒会親睦ボウリング大会	ジョイランド みしま
4月 26日(木)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	新天城につかつ ゴルフクラブ
5月 6日(日)	門信徒会定期総会	本 堂
6月 日()	門信徒会親睦研修旅行	東北方面
7月 22日(日)	境内清掃作業・親睦懇親会	境 内
8月 13日～15日	合同盆法要(全8回)	本 堂
9月 22日(土)	秋季彼岸会法要	本 堂
10月	寺報(第28号)発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。
 ※定例法座は毎月第1土曜日 午後7時より本堂にて開催。
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

(日頃の忙しさから解放されて
 気持ちが軽くなる自分を発見
 できるかもしれません。)

第三十二回 東京教区仏教壮年会連盟結成記念日研修会

平成二十四年二月十八日～十九日



親鸞聖人七百五十回大遠忌法要が一段落し、仏教壮年会

多聞会(長照寺仏教壮年会) 副会長 園田 茂光

連盟結成記念日研修会が千葉組で開催され、長照寺より私園田と藤澤氏の2名にて参加いたしました。

当日は雪のため新幹線が遅れ、勝浦市に近付くにつれ沿線に積雪が残り大変でしたが、寒い中何とか開催地に到着いたしました。

会場には三百十余名の参加者ではじまり、藤島秀天講師の話しに聞き入りました。

講師の先生は、他の同級生のお寺で、毎月の常例法座を時間制限なしで行っている話があり、すでに百回を超えているそうです。また報恩講・常例法座等の案内も、日頃気づいた事を文面に書き綴り、文書伝道の大切さをお寺の案内状とは思えないほど力を入れているそうです。

そして講師の先生いわく、読むことも大事であるが、聴聞を重ねる大切さもお話されていました。

こうして研修が終わりに近づき、最後に先生から昨年三月十一日を悼まれた話をされました。私も思いますに、東日本大震災から一年が過ぎた中、ガレキの処理も進まない、日本はどうなっているのでしょうか？

ガレキ処理にあたり大変な問題はあっても、いつかは我々の町でも困った問題は起きる可能性は有ると思います。我が町でも受入に協力したら良いと思います。

今回の親鸞聖人大遠忌のお心は『世の中 安穏なれ 仏法ひろまれ』
 『朋友の輪を拓げよう』でした。

我々の安穏なれ・・・は日々、頑張る事と同時に被災をされた方々のお心に寄り添っていくことが大事な事と気付かされました。合掌

つきじ一泊（わんぱく）子ども会

平成二十四年三月二十九〜三十日

門信徒 前島 康二



僕は、三月二十九日、三十日に築地本願寺にて、つきじ一泊（わんぱく）子ども会に参加した。それには、小学一年生から中学三年生までの全五十四名とサブリーダー、スタッフなど三十名、計八十四名が参加した。

築地本願寺に着いて思ったことは、とにかく境内が広がった。そして、本堂に入って見てみると、とても大きく圧倒された。そこで、礼拝の歌や真宗宗歌を歌った。

その後、築地本願寺の境内を探検した。中でも、お目当ての動物などの像を探るのが大変だった。

築地探検が終わり、スタッフの鷲元明誠先生から阿弥陀様についてお話を聞いた。鎌倉の大仏と、お寺の仏様は、同じ阿弥陀様だということが分かった。

僕がこの会で一番楽しかったのが、ツキジピックだ。みんなで協力して班の友達と友情が深まったと思う。

次の日、朝七時から仮本堂で晨朝勤行参拝（ジンジョウゴンギョウサンパイ）をした。少し長かったが、心の中が無になった気がした。

その後、朝食を取り、ANA機体工場にて工場見学をした。飛行機のパーツ一つ一つに、それぞれ工夫がされていることに大きく感じました。

来年もこういう機会があったらぜひ行きたいと思う。

合掌



研修風景



修了証授与



ツキジピック



築地本願寺内探検



ANA 機体工場内



ANA 機体工場内

平成 23 年度下期の行事



七五三参り(恵みのお参り)
(平成23年11月21日)
遠山 研介(けんすけ)君



七五三参り(恵みのお参り)
(平成23年12月30日)
園田 薫(かおる)ちゃん



修正会・新年会
(平成24年1月4日)
ボイスQ取材風景



初参式
(平成24年2月11日)
杉山 亮太(りょうた)君

心の窓を開く

ラジオ法座

FM三島函南 77.7MHz

毎週水曜日

お話／当山住職

朝7時40分(5分間)

●法話をまとめた小冊子第1～5巻が
発行されています。
お尋ねください。

編集後記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、平成24年10月発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで
〒411-0044三島市徳倉1195-817
TEL・FAX 055-988-3900
編集人＝長島・菊沢・斉藤・園田